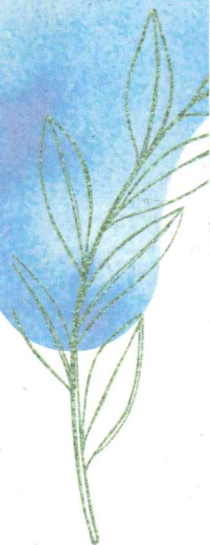




雲ヶ畑を訪ねて

新しきを知る



しあわせの再発見
鴨川源流と「京都で、夢を叶える村」宣言

京都の鴨川源流、森と水に恵まれた山あいの集落「雲ヶ畑」
雲ヶ畑の四季、伝統産業の炭焼き、お茶づくりなどを紹介します

展示期間 7月15日（火） — 7月21日（月・祝）

11時～18時（21日は14時まで） 入場無料 予約不要

**7月21日（月・祝） 14時30分～
アイリッシュハーブ演奏会**

（雲ヶ畑産ほうじ茶とお菓子とお土産付）

1500円（小学生以下500円）

予約 ✉ rena.apipo@gmail.com（江森）



**会場
主催**

**ギャラリー胡々湾（京都府京都市東山区夷町155-4）
山の人と町の人をむすび鯛**

展 示

7月15日（火）～7月21日（月・祝）

炭と炭ぼんさい（販売有り）

生活必需品であった柴、薪、木炭などの生産地であり、丹波産木炭の集積地でもあった雲ヶ畑。明治初期頃から、スギ、ヒノキの植林がはじまり、大正期以降の電柱需要に対応し、木材の生産地としても発展。しかし、エネルギー革命により薪や木炭の需要は激減し、薪炭生産が途絶える。現在、雲ヶ畑で炭焼きをしているのは一件のみ。燃料利用だけではなく、炭を鉢にした「炭ぼんさい」を制作し、インテリアとしての活用も見出た。炭ぼんさいに使う木は、雲ヶ畑の山で芽生えた小さな木。ミズナラ、ウリハダカエデ、ダンコウバイ、モミジ、ツツジ、アセビ、モミ…色々



ほうじ茶

5月、刈りとった新葉を蒸籠で蒸す。蒸し終えた葉を押切という道具で切り、むしろに広げ、乾燥させて保存。

今は簡単に飲料が手に入る時代。一昔前まではどの家でも作っていたが、今では数件のみとなった。手間ひまがかけて作る貴重なほうじ茶。

四季の写真

四季折々、里山の様子。魚谷峠付近のウリハダカエデの紅葉の様子は、撮影者一番のお気に入り。



活動紹介（植林など）

台風で倒木したスギ林跡地に炭焼き材となるナラなどの広葉樹を植林。



写真提供者：KUMIKOmini、波多野

アイリッシュハーブ演奏会 7月21日（月・祝）14:30～

アイルランドや北欧の伝統曲、ジブリ曲などから、雲ヶ畑の里山や夏をイメージする曲など演奏します。雲ヶ畑産ほうじ茶とお菓子と共に、ハーブの音色に包まれるひとときを…演奏会後、希望者はハーブの体験も可能です。

お申込みはメールで氏名、人数をお知らせください。右の申込みフォームからも、お申込みできます。

1500円（小学生以下500円）

申込み ✉ rena.apipo@gmail.com（江森）

申込フォーム



演奏 江森礼奈

幼少よりピアノ教師の母のもと音楽に親しみ、2021年から、アイリッシュハーブをはじめ。森林インストラクターとして活動し、雲ヶ畑の森の案内や、地域おこしに携わる。ハーブ演奏を通じて、地域おこしの役に立てたら…と思い、今回のイベントを企画。

